

地域活性化へ アイデア披露 高校生ら30人

今治

などを考えた。地域ブランディングを手がける高知県の企画事務所が計画。今治明德短期大の学生や今治高等学院、三崎高(伊方町)、北宇和高三間分校(宇和島市)の生徒ら計約30人が参加した。

催している「せとうちや、料理開発のノウハウなどマルシェ」で販売することを提案。ほ飯の考案などのアイデアが吹奏楽部の演奏アがした。

「今治市長へ一言」と題する意見収集では、県内高校生サミットの開催や、アニメや映画に登場する海賊船の建造を求める声などが上がった。(武田泰和)

県内の高校生や大学生らが地域活性化を考える「いまばり若者カイギ」が15日、今治市片原町1丁目の市みなと交流センター「はーぱりー」であった。学校活性化の取り組みを発表したほか、今治活性化のためにできること、今治で月2回開



高校や大学の活動を紹介し、今治でコラボできそうな取り組みを考えた「いまばり若者カイギ」

令和5年1月20日付 愛媛新聞9面
掲載許可番号d20230120-01